

令和4年度八千代市生涯学習審議会 会議録

会 議 名 令和4年度八千代市生涯学習審議会

開催日時 令和5年3月14日（火） 午前9時58分～11時13分

開催会場 八千代市教育委員会庁舎 1階 第1・第2会議室

議 題 (1) 八千代市生涯学習審議会会長・副会長の選出について
(2) 第3期八千代市生涯学習推進計画【令和5年度版】(案)について

出席者名

出席委員	佐藤 知行 委員（市民）
	田村 俊毅 委員（市民）
	岡崎 留美子 委員（市民）
	藤澤 伊佐緒 委員（学識経験者）
	小出 正雄 会長（関係団体の代表者）
	小野尾 忠一 委員（関係団体の代表者）
	金子 寿次 委員（関係団体の代表者）
	酌井 博美 委員（関係団体の代表者）
	平山 昌弘 委員（関係団体の代表者）
事務局	山本 博章（教育次長）
	齋田 忠徳（生涯学習振興課長）
	斎藤 仁（生涯学習振興課公民館担当主幹）
	大野 光弘（生涯学習振興課図書館担当主幹）
	米ノ井 正樹（文化・スポーツ課長）
	中村 元重（郷土博物館兼文化伝承館館長）
	松本 亮二（生涯学習振興課副主幹）
	江尻 浩太（生涯学習振興課主査）

公開又は非公開の別 公開

傍聴人定員及び傍聴人数 0人／定員5人

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047(481)0309

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

それでは、定刻前ではありますが皆様お揃いですので、ただいまから令和4年度八千代市生涯学習審議会を開会いたします。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

司会を務めさせていただきます生涯学習振興課の松本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、資料の確認をさせていただきます。

お手元にお配りしております順に申し上げますので、ご確認ください。

- ・まず「会議次第」
- ・次に「席次表」
- ・続いて「八千代市生涯学習審議会委員及び事務局職員名簿」
- ・「八千代市生涯学習審議会条例」
- ・「八千代市生涯学習審議会条例施行規則」

本日の配布資料は以上となりますが、委員の皆様方に事前に郵送をさせていただき、ご持参をお願いしました資料といたしまして、

- ・「第3期生涯学習推進計画【令和5年度版】（案）」

以上となりますが、資料の不足がございましたら、お申し出ください。

資料の方はよろしいでしょうか。

本日の出席委員は、9名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議が成立しました。

本会議は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」第4条の規定により、公開としております。

また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承をお願いします。続いて、皆さま方のお手元にありますマイクの使用方法についてご説明いたします。

本会議中におけるマイクの使用につきましては、発言をされます前に、必ずボタンを押してからご発言くださいますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って、進めさせていただきます。

次第「2市長挨拶」になりますが、服部市長よりご挨拶申し上げます。

【服部市長】

皆さん、おはようございます。生涯学習審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

また、この本委員会の委員をお引き受けいただいたことに心から感謝申し上げます。

人生100年時代ということで、趣味だったり様々な物がありますが、生涯にわたり学習をし続けるという方が増えてきております。

それに合わせ、行政としても推進に取り組まなければならないという時代を迎えたのだと私は思っております。

そんな中で、令和3年3月に制定されました第3期生涯学習推進計画に則って八千代市とすれば生涯学習に関する施策を展開しておりますけれども、先程申し上げましたように、多くの市民の皆さんが生涯にわたり学習し続ける、そういう時代になりましたので、これからの生涯学習を

どうやって推進していくかということについては、それぞれ皆さんいろんな立場がございますので、しょうから、その立場から忌憚のないご意見、ご助言、提言をいただければというふうに思っております。

これからも皆様方に大きく期待をさせていただきまして、私のご挨拶にさせていただきます。これからもよろしく願い申し上げます。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

続きまして、次第「3委員及び出席者紹介」ですが、本日は本審議会の委員として新たに委嘱後、初めて開催する審議会となりますので、お1人様ずつご紹介をさせていただきます。

お配りした「名簿」の順にお呼びしますので、おそれ入りますがご起立の上、一言ご挨拶を賜りますようお願いいたします。

それでは、まず、市民委員といたしまして、佐藤知行委員でございます。

【佐藤委員】

佐藤と申します。私は8年の程前に公立学校を定年退職いたしまして、現在は近隣の高校で非常勤講師をしています。福島復興支援として、県内の原発事故以来、避難をされた方がたくさんいらっしゃるんですけども、そんな方々に対して、その傾聴を主体とした支援活動を続けております。

今後審議会につきましては、市長からもございましたように人生長くなってきました。やはり学び続けるということもすごく大事になっていきますので、この審議会の委員として一生懸命、きめの細かい施策づくり・環境づくりに貢献できたらいいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

次に、田村俊毅委員でございます。

【田村委員】

田村です。私は2期目になりますけれども、民間企業でも生涯学習みたいなことをやってきて、就任して分かったのが、八千代市は進んでいるなど対象も広くボリュームもあり、他の市町村に全然負けない生涯学習をやられているなどというのが1期目の感想であります。

これから令和5年度の計画に入りますが、コロナの影響により中身が落ちて目標が達成できないところもあるので、今年はずいぶん、ぜひ、カンバックということで頑張ってください。そのためには第3期生涯学習推進計画策定の際に答申しましたが、あれに沿ってぜひやっていただきたい。特にPDCAを回すというのですかね。市民の要望をいかに聞いて、そしてやっていくかということ。それから、そのためには十分にPRして、そして積極的に展開をするというのが多分令和5年の一番大きな要素じゃないかと思えます。

ひとつ私も頑張りますので、よろしく願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

次に、岡崎留美子委員でございます。

【岡崎委員】

岡崎といいます。ちょうど去年の4月に八千代市に越して参りまして、まだ八千代市民歴も浅いです。息子が3人おりまして、20歳と高校2年生と中学2年生の3人の息子がおりますので、子育て中の母親ですとか、主婦としての目線なども意見として出させていけたらいいなと思っております。よろしくお願ひします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

続きまして、学識経験者としたしまして、本市にキャンパスを置く秀明大学の教授であります藤澤伊佐雄委員でございます。

【藤澤委員】

藤澤です。秀明大学で自分自身の37年間の公立小学校での経験を生かし、将来教師となる学生と授業を通して、子ども達との信頼関係が築いていけるような教師となることを共に目指して頑張っているところであります。よろしくお願ひいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

続きまして、関係団体の代表者としたしまして、八千代市自治会連合会副会長、小出正雄委員でございます。

【小出委員】

小出と申します。村上地区の自治会長をやっております、自治会と審議会の仲を取り持つ関係をお作りしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

次に、公益財団法人八千代市地域振興財団理事、小野尾忠一委員でございます。

【小野尾委員】

小野尾です。私は八千代市に生まれ育ちまして今年で60年となります。地元のことを知り尽くしている様でまだまだ分からないこともあると思っております。現在、八千代市のライフル射撃協会では会長を務めながら、趣味ではマラソン等を行っています。今回、生涯学習というところで、何か自分がお役に立てることを見据えながら頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろし

くお願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

次に、八千代市スポーツ協会副会長，金子寿次委員でございます。

【金子委員】

金子です。自分は八千代市スポーツ協会の副会長をしていますが、空手教室を40年以上やっており、八千代市の空手道連盟の会長も10年程務めまして、青少年の健全育成に携わってきたところでもあります。自分が思うには生涯学習というのは少し固いのですが、すごく大切なことで地域の中で共に学び、活動することで住みやすいまち八千代が実現することに近づくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

次に、八千代市公民館サークル協議会会長，酌井博美委員でございます。

【酌井委員】

酌井と申します。私は八千代市公民館サークル協議会会長を拝命いたしまして、公民館関係のお手伝いをさせていただいておりますが、自分の経験でいきますと、緑が丘自治会の防犯防災隊長をしており、また、今現在は新木戸小学校避難所運営委員会の会長を拝命しております。そういった経験も踏まえて緑が丘長寿会にも入っております、いろんな形から私も出来る範囲で協力していければと思っております。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

最後に、八千代市校長会村上中学校長，平山昌広委員でございます。

【平山委員】

村上中学校平山と申します。よろしくお願いいたします。小中学校の関係で参加させていただきます。学校の生徒との関わりを持ちながら、生涯学習の一部を担っていけるよう、そういった視点からいろいろ皆さんの話を聞かせていただければと思います。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

委員の皆様，ありがとうございました。

続いて，市側の出席者紹介をさせていただきます。

〔市長・教育長紹介〕

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

続きまして、事務局紹介に移らせていただきます。

〔事務局紹介〕

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

申し訳ございませんが、市長・教育長は、所用のため、退席をさせていただきます。

〔市長・教育長退席〕

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

続いて、次第「4 議題」に移らせていただきますが、本日は委員の改選後、初めての審議会となりますので、議長を務めていただき、会長が不在となっております。このため、会長が選出されるまでの間、事務局にて進行をさせていただきます。

議題「(1)八千代市生涯学習審議会会長・副会長の選出について」に入ります。

はじめに会長の選出になりますが、八千代市生涯学習審議会条例では、第4条第1項の規定により、会長は委員の互選により定めることとなっております。自薦・推薦等はありませんでしょうか。

【平山委員】

はい。藤沢委員を推薦いたします。藤沢委員は、秀明大学の教授でおられ、専門的な知識を有しておられます。また、これまで市内の小学校の校長も歴任されておりますので、会長にふさわしいかと思えます。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ただいま、平山委員から、藤沢委員のご推薦がありました。皆様いかがでしょうか。

【委員一同】

（異議なし）

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

藤沢委員、お引き受けいただけますか。

【藤沢委員】

ありがとうございます。平山委員より推薦をいただき、また皆様異議がないということなので、全力を尽くして取り組みたいと思えます。よろしく願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

皆様のご承認をいただきまして、会長が決定いたしました。

これ以降は、議事進行を藤澤会長にお願いいたします。

【藤澤会長】

それでは改めまして、藤澤と申します。

皆様のご協力をいただきながら、審議会を進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願
いいたします。

議題(1)の続きとなりますが、「八千代市生涯学習審議会副会長の選出について」入ります。

副会長についても、八千代市生涯学習審議会条例の規定により、委員の互選により定めること
となっております。自薦、推薦はございませんでしょうか。

【藤澤会長】

皆様からのご異存がなければ、私から推薦をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょ
うか。

【委員一同】

(異議なし)

【藤澤会長】

それでは、現在の生涯学習推進計画の策定に当たり、貴重なご意見をいただきました、佐藤委
員を推薦したいと思いますが、皆様ご承認いただけますでしょうか。

【委員一同】

(異議なし)

【藤澤会長】

佐藤委員、お引き受けいただけますか。

【佐藤委員】

受けさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【藤澤会長】

ありがとうございます。皆様のご承認をいただきまして、副会長が決定いたしました。どうぞ
よろしくお願いいたします。

それでは、次の議題に入ります。

議題「(2)第3期生涯学習推進計画【令和5年度版】(案)について」事務局から説明をお願いし
ます。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

私の方から議題（2）第3期八千代市生涯学習推進計画【令和5年度版】（案）についてご説明をさせていただきます。

本日、皆さまにご持参をお願いしました「第3期八千代市生涯学習推進計画【令和5年度版】（案）」をご覧ください。

はじめに、今回初めて委員になられた方もおられますので、改めて令和5年度版作成の趣旨についてご説明いたします。

それでは、1ページ目をご覧ください。

ページ上段に作成の趣旨が記載されておりまして、『令和3年3月に策定した第3期八千代市生涯学習推進計画では、PDCAサイクルの視点に立ち、必要に応じて計画を見直し、改定を行うなど進行管理に努め、社会環境の変化や計画における「具体的な取組」の進捗状況等に応じて変更・追加等を行う』としています。

こちらは、第3期推進計画の策定に当たり、八千代市生涯学習審議会に諮問した際、「具体的な取組や目標値などを示した毎年度版の計画書の作成」について答申をいただきましたことから、今回は、令和5年度版として作成したものであります。

続きまして2ページから3ページ目をご覧ください。

こちらは、本市の生涯学習施策を総合的・効率的に推進するため、位置づけた具体的な取組項目の一覧となっております、現在、44項目51件あります。

なお、令和5年度版につきましては、先程お話ししました、進捗状況等に応じた変更として2件ありまして、追加につきましては「無し」となっております。

続いて4ページ目をご覧ください。

ここから、各「具体的な取組項目」の詳細について記載をしております。

今回、記載をしています内容につきましては、本年1月に推進部署（担当課）に対し、昨年の12月末現在の状況及び1月から3月にかけて予定をしている取組について調査を行った結果となっております。

表の見方になりますが、1段目に「整理番号」「推進部署」「指標の有無」、2段目に「具体的な取組」、3段目に「具体的な取組の概要」、こちらは、第3期の推進計画内において定めている内容を記載しています。

続いて「令和4年度実施内容」、

次に「実施内容に対する評価」として、こちらは、3段階の評価を設けており、1つ目が「計画どおり実施した」、2つ目が「計画の一部を実施した」、最後3つ目が「実施できなかった」、の3段階評価としていまして、併せて、その評価をした「理由」の記載をしています。

次に「令和5年度の取組内容（予定）」、次に「指標」として、指標としている項目、その右横が指標項目の「令和4年度末目標値」、一番下の段に令和元年度から4年度末までの各年度の実績値及び令和5年度と6年度の目標値を記載しています。

なお、「令和4年度実施内容」・「令和5年度の取組内容（予定）」・「令和4年度末の実績値」については、先程お話ししたとおり1月の調査時における結果になりますので、最終的な実施結果で変更となる場合があります。

続いて、令和4年度の実施状況として、33ページから34ページ目にかけて集約した資料を掲

載していますので、33 ページ目をご覧ください。

こちらのページですが、大変申し訳ございません。誤りが2か所ありまして、まず「1の具体的な取組」の件数ですが、44項目50件となっておりますが、44項目51件となります。次に、ページの下段「計画の一部を実施した27件」となっていますが、こちらは28件となりますので訂正をさせていただきます。誤りがありましたことについて謹んでお詫び申し上げます。

集約結果になりますが、具体的な取組44項目51件のうち、22件が「計画どおり実施した」、28件が「計画の一部を実施した」、1件が「実施できなかった」となっております。

続いて次の34ページ目、表の下のところをご覧ください。

こちらに、令和3年度との比較について掲載をしております。

「計画どおり実施した」が前年度の19件から22件に、「計画の一部を実施した」が27件から28件に上昇し、「実施できなかった」が4件から1件に減少しました。

令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年度であり、感染対策として人流抑制のための行動制限や施設利用に当たっても活動制限等を設けておりましたことから、中止・延期となった事業が多くありました。令和4年度につきましても、コロナ禍は継続しておりましたが、各推進部署において、様々な感染対策を講じつつ、事業の再開に取り組まれたことから、令和3年度と比較すると「計画どおり実施した」と「計画の一部を実施した」が増加し、「実施できなかった」が減少した状況となっております。

次に「指標」に関する結果になりますが、34ページから35ページ目にかけて集約を掲載しています。

こちらでも申し訳ございませんが1か所誤りがありまして、35ページの下から2行目、20件➡15件となっておりますが、15件ではなく、12件となりますので訂正をさせていただきます。

それでは、33ページ目の下段をご覧ください。

指標の設定をしている項目が29項目・33件あり（そのうち1件は令和4年度末の目標値はありませんが）、「計画最終年度の令和6年度末の目標値を達成した」が3件、「令和4年度末の目標値を達成した」が4件、「令和4年度末の目標値は達成できなかったが前年度の実積値を上回った」のが12件、「令和4年度末の目標値を達成できず前年度の実積値も下回った又は同様であった」が13件でありました。

指標につきましても令和3年度との比較を35ページ目の表の下段の下に掲載しており、「令和6年度末の目標値を達成したが1件から3件」に上昇し、「前年度の実積値を上回ったが20件から12件」に減少し、「前年度の実積値を下回った又は同様であったが8件から13件」に上昇となりました。

なお、「該当年度の目標値を達成した」につきましては、令和3年度までは、当該年度の目標値を設定していなかったことから、比較はございません。

指標の達成状況に対する評価ですが、「計画最終年度の令和6年度末の目標値の達成」が増加した一方、「前年度の実積値を上回ったが20件から12件」に減少していることから、少なからずコロナ禍の影響はあったにせよ、事業の推進に当たり、課題があるもの捉えております。

それでは、これより各個別の取組の詳細について、説明をさせていただきますが、本日は限られた時間となりますので、変更した項目及び指標を設けている取組で前年度と比較して上昇・減少した項目を中心に説明をさせていただきます。

それでは、6 ページ目をご覧ください。

ページ下段の「オンラインを活用した学びの充実」になります。

この取組につきましては、前年度の「計画どおり実施した」から、今年度は「計画の一部を実施した」に評価を下げております。

取組の概要といたしますと、「いつでもどこでも学習ができるオンラインを活用した講座等を配信することで、学びの充実に努める」とし、歴史講座、健康講座、俳句講座等を実施することとしておりますが、令和4年度の実施内容としては、公式 YouTube アカウントにて2件の新規 WEB 講座を配信し、視聴回数は12月末現在で531回となっております。

表の一番下段の令和3年度末と4年度末の実績値を比較していただくと前年度の16回から3回へ大きく数値を下げた状況であります。

大きな要因といたしましては、多くの講座・教室を実施している公民館や図書館との連携不足及び市長部局への活用周知不足にあると考えておりますので、その辺りを令和5年度は改善し、目標値を達成できるよう取組んでまいりたいとしているところであります。

続いて18 ページ目をご覧ください。

ページ上段になりますが、「ニューリバーロードレース in 八千代の開催」になります。

委員の皆様ご承知のとおり、ニューリバーロードレースは本市を代表するスポーツイベントであります。令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

令和4年度は種目を減らすなど規模を縮小し感染対策を講じた上で、3年ぶりに開催したところであります。

令和5年度につきましては、全ての種目について実施ができるよう努めることとしております。

続いて同ページ下段の「コミュニティーワールドカップサッカーin八千代の開催」についてですが、こちらは「地域スポーツの活性化と生涯スポーツへの関心の高揚、技術の向上と青少年の国際交流を目的」として、平成3年から中学生を対象に、海外や県外のチームが参加する大会を開催してまいりました。

こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降3年連続の延期となっております。中学生年代にとって本大会に参加することは、サッカーを通じた文化・地域交流の貴重な機会となりますので、実行委員会をはじめ関係機関とも連携の上、令和5年度の開催に向け取り組むこととしております。

続いて、20 ページ目をご覧ください。

ページ下段になりますが、こちらは今回変更した取組となっております。

変更前が「市民活動サポートセンターの運営管理」でしたが、本年4月1日より市民活動サポートセンターと八千代市社会福祉協議会が設置しているボランティアセンターを統合することに伴い、八千代市市民活動サポートセンターの設置及び管理に関する条例が廃止されることとなったため、変更するものであり、具体的な取組が「八千代市ボランティア・市民活動推進センターの運営に対する補助」となります。

具体的な取組の概要については、「市民とボランティア団体・市民活動団体を繋げるマッチング業務の強化を図るとともに、ボランティア活動・市民活動の一体的な推進を行うことで、住民主体による支え合い活動などの促進に努めることとし、マッチング業務、イベントの開催等を実施することとしております。

続いて 23 ページ目をご覧ください。

「生涯学習ボランティアバンク制度の活用の推進」としてページ下段の（２）公民館ボランティア講師制度になります。

この取組につきましては、指標の実積値を前年度より大きく下げた取組であります。

取組の概要としては、『教えたい人と学びたい人をつなぐ「公民館ボランティア講師制度」の内容を充実させるとともに、市民の積極的な活用を推進する』ことですが、指標の「②公民館ボランティア講師制度の登録者数」が令和 3 年度末の 50 人から 36 人に減少となりました。

要因といたしますと、登録講師の方に 3 年に 1 度、講師の継続確認を行っているのですが、今回、高齢化等を理由に 14 名の方が継続を辞退されたというところであります。

ボランティアの担い手不足という、現実的な問題・課題がある状況ではありますが、市民の方の様々なニーズに応える講座や教室等が実施・継続できるよう、令和 5 年度は新たな登録者の増加に向け取組んでまいりたいと考えております。

続いて 25 ページ目をご覧ください。

ページ上段の「里山整備ボランティアの育成」になります。

取組の概要としては、『「第 3 次環境保全計画」に基づき、里山楽校を開催し、里山整備ボランティアを育成するもの』であり、里山整備ボランティア人材育成講座、里山学習会等を実施しています。

令和 4 年度の実績として、これまで実施してきた里山楽校に関するアンケート結果を踏まえ、講義内容等を工夫したところ、参加者数が増加し、指標である、里山楽校（里山整備ボランティア人材育成講座）の参加者数が、今年度末見込 191 人となり、令和 6 年度末の目標値を達成する状況であります。

続いて 26 ページ目をご覧ください。

ページ下段の「電子決済サービスの提供（キャッシュレス化）」になります。

こちらは令和 4 年度に新たな取組として追加した項目となっております。取組の概要といたしますと「施設使用料等の決済方法について、新たにキャッシュレス決済を導入し、市民等の利便性の向上を図る」ものであり、今年度は他市町村の状況や費用対効果等について調査を行い、その結果を踏まえ、令和 5 年度中に QR コードによるキャッシュレス決済を導入する方針を決定いたしました。

来年度は総合生涯学習プラザや市民会館・市民体育館、公民館など社会教育施設等 16 施設にキャッシュレス決済を導入するとともに、導入後の利用者の要望状況に応じて、キャッシュレス決済方法の追加について検討を行うこととしています。

続いて 27 ページ目をご覧ください。

ページ下段の「生涯学習情報提供システムの充実」になります。

この取組につきましては、前年度の「計画どおり実施した」から、今年度は「計画の一部を実施した」に評価を下げております。

取組の概要といたしますと、『生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の情報を充実させ、様々な情報の需要に応えるとしており、「まなびネットやちよ」の充実・周知・啓発等を実施しております』が、令和 4 年度の実績見込として、73,000 件と前年度から減少となります。

実施内容に対する評価の理由に記載しておりますが、「まなびネットやちよ」については今年度、

全面リニューアルとして、検索しやすいよう視覚的にもレイアウト変更を行うとともにスマートフォンにも対応した WEB ページの構築に努めましたが、目標値を達成できない見込みでありますので、来年度は更なる周知として、やちよ情報メールや市ホームページ、広報やちよのほか SNS 等を活用し、生涯学習情報の発信に努め目標値の 80,000 件が達成できるよう取組むこととしております。

続いて 29 ページ目をご覧ください。

ページ上段の「市民の知的活動や創造的活動を支援するサービスの充実」になります。

取組の概要としては、図書館において資料の充実を図り、資料提供、情報提供を通して、市民の日常的な読書から調査・研究までの生涯学習活動を支援し、暮らしと仕事に役立つサービスを充実させ、また、ホームページ等を活用した情報発信を行うことで、利用の拡大に努め、さらに、非来館型サービスである電子図書館を充実させ、市民が活用できるよう周知に努め、資料収集・提供、団体貸出等を実施しております。

今年度の指標として「①市民一人当たりの年間図書貸し出し冊数」実績見込は 4.72 冊、「②市内在住の個人貸出登録者数」は 71,530 人となり前年度より減少しております。

要因といたしますと、八千代台図書館の改修工事の影響があるものと考えていますが、来年度は更なるサービスの充実及び環境整備に向け、中央図書館に自動出納書庫の整備に向け工事に着手するほか、大和田図書館別館（児童図書室）の屋根の改修工事を実施することとしております。

続いて 31 ページ目をご覧ください。

こちらは今回変更した取組となります。

変更前が「学校運営協議会の設置・推進・支援」でありましたが、本市では、学校運営及び学校への必要な支援に関して協議する機関である「学校運営協議会の設置」とともに学習支援等の多様な取組みを行う「地域学校協働本部の設置」を一体的に推進することとしたことに伴い、「学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置・推進・支援」に変更するものであります。

今回の変更に伴い、指標の項目に地域学校協働本部の設置数を追加し、また、目標値につきましても昨年 7 月に設置計画を作成したので変更をするものであります。

各個別の取組の詳細についての説明は以上となりますが、説明をしなかった取組についても質問・確認等がございましたら、この後の質疑応答の中でご質問いただければと思います。

また、冒頭にもお話ししましたが、今回の計画書（案）は 12 月末現在の状況及び 1 月から 3 月に予定されている取組について調査を行った結果となっておりますので、本年 4 月に改めて、各推進部署へ調査を行い、その結果を反映させ、4 月若しくは 5 月に完成させることとしております。

議題（2）第 3 期八千代市生涯学習推進計画（案）の説明は以上となります。

【藤澤会長】

ありがとうございました。

只今、事務局から説明がありましたが、計画全体を通してのほか、個別の「具体的な取組項目」などについて、委員の皆様からご質問・ご意見を受けたいと思います。

質問のある委員は挙手をお願いします。

【田村委員】

はい。

【藤澤会長】

田村委員お願いします。

【田村委員】

質問・要望ということで、一つ目は6ページの先程ご説明いただいた「オンラインを活用した学びの充実」、27ページとも関連していますかね。オンラインの活用っていうのは、今後の社会を展望した場合、市民にとって大変いいことだと。だから充実していくべきだと。市民も気楽に参加できるということだね。そういうことで、ぜひやっていただきたいのですが、目標が25回で3回しかやれなかったということだね。公民館との連携とかいろいろあったと思うのですが、この部分よく分析して、そういう意味では留意してもらいたい。

それから、連携っていうのもう一つは中身がきちんと魅力のあるものじゃないと、やっぱり、みんな、繋がらないですよ。だからそういうのもぜひ考えてですね、目標を達成して欲しい。この取組は、ある意味では市民講座の柱になっていくと思いますのでよろしくをお願いします。

次に、これもご説明がありました「生涯学習情報システムの充実」というところ。これもそういう意味では、生涯教育を市民に周知する。時には一番大きなPR要素っていうかね。そういうことだと思うのです。実は私も生涯学習のファンで時々利用させてもらっていて、中には満員で断られる場合も結構ありまして、人気のある講座が結構多いと思う。それで周知の充実、このような内容の情報の充実というのですが、ちょっとこれ質問というか、聞きたいのですが、TOP画面に団体名が書いてありますよね。公民館とか、それをクリックすればそこが出てくるっていうかね。TOP画面に私がよく利用する図書館の項目がないような気がしますけども。それから、生涯学習振興課さんも何かやられているのでしょうかクリックするところがないように、つまり全体を網羅しているのかどうか。ここにある、このページの施策全体をね。TOP画面に、どこを見れば全部大体分かるよと。市民はね。何を見れば、そういう意味では、自分の希望がすぐ見つかる。つまり、これとセットしてあげれば一番使いやすいかなと思いますけれども、ちょっとその辺は素人なのでよく分かんないですけども、私が市民として利用すると、ちょっとその辺が分かりにくいなっていうのが、現状です。そういうことでこれ要望です。

【藤澤会長】

事務局お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

はい。ただいまのご質問・要望ですね。ありがとうございます。ご質問としていただきましたまなびネットやちよ、生涯学習情報提供システムの閲覧の関係になりますが、実は全面リニューアルを行うことに伴いまして、公民館や図書館の情報を再度、担当館の方に内容確認をしまして、その確認期間の間、該当ページが閲覧できない形にしておりました。ただし、その辺りは既に改善をしておりまして、現在は、各公民館や図書館の情報も閲覧することができます。ま

た、TOP 画面の表示につきましては、後程ちょっとお話をいただければと思います。

【田村委員】

TOP 画面については、いろいろ努力されていると思いますが、生涯学習の情報が得られやすいよう、市民が使いやすいようにしていただきたいなと思います。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

6 ページのオンライン講座ですけれども、やはり再生回数も少ないものは 100 回とか、多いものは 5000 回などでいろいろ幅がありまして、その中で人気のあるものについて皆さんがご利用いただけるようなものを作っているような公民館の講座とかは、再生回数が多いですけども、その辺で人気があるような視聴回数が伸びるようなものを踏まえながら図書館、公民館と新たな講座について検討して参ります。また、YouTube の動画を作るという技術的なものもすべての職員ができてない状況ありますので、その辺についても対応して参りたいと思っております。

【藤澤会長】

ありがとうございます。

八千代市のホームページのリニューアルが予定されていますので、その中でぜひ田村委員さんからあったように利用しやすいっていう部分と情報発信としてやっぱり生涯学習に対する市民への周知が広がるようなインパクトの工夫とかしていただいて、せっかくのリニューアルの機会なので、是非、情報発信をよろしくお願ひしたいと思います。

他にいかがでしょうか。

【酌井委員】

はい。

【藤澤会長】

酌井委員お願ひいたします。

【酌井委員】

ちょっと簡単には二つありまして不勉強ですが、一つは防災関連。整理番号 1-1-⑮、1-1-⑳、1-1-㉓、あと 4-7-②で防災関連の取り組みをされていると思いますが、私自身の経験からしましたら、自治連さん、いわゆるその地域の自治会さんにもうちょっと周知された方がより効果的かと私は思います。これは自治会、もしくは自主防災組織が結構ありますので、それが一つ。

もう一つはですね、たまたま私は長寿会に入っていて、緑が丘長寿会。そういう観点からいきますと、例えば整理番号 1-1-⑱とか 2-2-④、或いは 2-3-①、或いは 2-4-⑥といったところですね、いわゆる高齢者の方、もちろん長寿会だけが対象じゃないと思いますが、せっかく八千代市長寿会連合会という組織もありますので、そのあたりのコラボとか、連携というか、利用するといったこともあってもおかしくないのではないかと私は思います。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

今ただいまご質問がありました防災関係の部分と健康関係になってくるのですが、本日は推進部署の方が参加いただけてないので、ただいまいただいたご質問、要望等は、推進部署の方に投げかけて書面の方でご回答させていただければなという形でご了承いただければと思います。

【藤澤会長】

酌井委員からは、防災に関してありました。

防災については、別組織できちんと対応していく必要もあると思うのですが、私が学校現場にいた経験として、12年前の3.11の地震時、私は村上小学校の方で体育館を避難場所として開設しました。あの経験から、各学校が防災拠点、体育館とか教室を避難場所を提供するという一方で、自治会と学校組織と市の3者が連携してということでありながら、その進捗状況に特に学校体育館を使うとなった場合に体育館での防災のための組織づくりとかが去年私書かせていただいたのですが、やはり自治体、自治会の方と学校の連携という部分をぜひ担当部局に伝えていただいて、酌井委員さんは多分地域にいらっしゃってなかなかそこら辺が歯がゆさを感じるかもしれないのですが、ぜひそういったところの連携をさらに深めていただけるといいかなと思います。

他に皆さんいかがでしょうか。

金子委員お願いいたします。

【金子委員】

金子でございます。

自分はですね1-1-⑬、郷土博物館主催講座のところですけども、拝見しました講座の内容とか大変結構なのですが自分の提案としましては、八千代のもっと古い時からの歴史の流れとか、そういうのを調べていただいてわかるようなことをもしやっていたら、何か自分の住む八千代ってこういうことだったのかなという理解が深まり、より愛着が湧くことに繋がるかなと思うのですね。

例えば、奈良時代あたりからの八千代ってどういうことだったのかっていうこと、これはよく調べないとわかんないことだと思うのですけど。

そこら辺からずっときて新川の源右衛門さんのこととか、そこら辺が昔からのことがわかるようになるとさらに愛着、理解が深まり良いのかなということをちょっと思いましたので提案です。以上です。

【藤澤会長】

いかがでしょうか今の質問に対して。郷土博物館中村館長お願いします。

【中村館長】

金子委員の方からの質問は、郷土博物館では奈良時代ということだったのですが、縄文時代

とか古代の方から土器とかそういうものを発掘されております。印旛沼流域の古墳群とかそういうものもありますので展示しております。

学習のメニューとしてはですね、そこまでちょっと全体的な話になってしまうと時間的なものがかかってしまうので、例えば古墳時代とか、中世の、例えば村上綱清とかそういう時代のものなんかを分割して話はしております。例えば、もうちょっとそこまで詳しく話をしなくても、全体的な流れを紹介して欲しいというのであれば、講座などで紹介していきたいと思っております。

【藤澤会長】

他にいかがでしょうか。齋田課長お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

先ほど酌井委員がおっしゃいました6ページの方ですね。私達の課の方で、「ふれあい教室の充実」というのがありまして、折り紙とか昔の遊びとかをやられる学童や保育園に行くものがありまして、これについても先ほど長寿会というお話がありましたので、長寿会の方で参加いただける、今やらない遊びを子供たち伝えるようなものがありましたら、先生についてぜひ紹介いただきたいと思っておりますので、今後長寿会の方にいろいろ問い合わせたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【藤澤会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

では、議長ですが私の方から三つあります。

一つ目は全体的な問題として昨年度のコロナの影響があって、いろんな事業が実施できなかったと思うんですね。で、昨日からマスク着用についての緩和とか、5類への変更とか、もちろん感染状況どうなるかわからないので一概にこの場で決定はできることではないのは重々承知なのですが、コロナ予防に対し、感染症に対する予防の緩和に伴って、昨年度、コロナが理由で実施できなかった事業をどのような基準で、どのようなステップで復活させていこうとしているかということが一つ目の質問です。

二つ目が、学校現場にいた人間としてとっても感じるのですが、1-1-⑦に「子供読書活動の推進」、続いて⑧に、「ブックスタートの推進」と書いていますね。私がいた学校では、小学校1年生2年生を対象に地域の読み聞かせボランティアの方が来てくださって1週間に1回、読み聞かせをやってくださると本当に一年生年生の子供たちが一生懸命絵本を広げて読んで聞くのですよね。やはり読書というのは、スタートが大事なと。

そうするとそこに書いてある、ブックスタート665冊配布しましたという取り組みはとっても私はいいいと思うんですね。子供たち、特に小学校に入る前の4歳、5歳の文字に興味持ち出した子供たちに対して、ブックスタートはもっと前の段階からのものですが、そういった配布をぜひ関係部局とも、或いは中央図書館との方との連携も図りながら小学校に入る前の子供たちの読書の推進というのを進めていただきたいなというのが二つ目です。

最後三つ目ですが、31ページの4-7-①、先ほど説明があった学校運営協議会のところで。コロナがこれほど流行する前の2019年、私は高津小学校の方でこの地域学校協働本部の活動

の一つとして、夏休み入ってすぐに3年生4年生で算数が得意じゃない子供たちを高津学校が集めて退職した教員とか、地域の方とか、それこそ私が勤務する前の秀明大学の学生が来て夏休み4日間、丁寧にあまり算数が不得意な子たちの補修活動をやって、とても子供たちが自信持ったのですね、とてもいい活動だったのです。

いろんな団体がいろんな活動していくと思うのですが、今のところ地域学校協働本部が2組織8校だけになっていきますけども、これを来年度は10校、13校に増やして行って、6年度には21校全校で進めていきたいということですが、ぜひこの推進を具体的に指導課等も関係しながら学校現場で働いた経験がある60歳を過ぎた教員等を活かす場としてもぜひ充実させていただくと嬉しいかなということで三つお願いします。

はい、課長お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

一つ目のコロナの状況の方で大分人数が減ってきた状況をこれからどのような形で戻していくかというご意見ですが、やはり公民館の歌を歌うことができないとか人数制限とかですね、やはり調理とかもいろんな制限がありまして、今後それについて大分物理的なものは戻ってきているのですが、今後の人数を把握しながらどのような形で戻ってくるのか、また戻ってこない場合、皆さんの生活の中の水準も変わってきておりますのでその中身を把握しながらですね、運営について対応して参りたいと思っております。

続きまして、3番目のコミュニティスクールの方ですが、議長をいらっしゃった時代まだ法整備はできてなかったのですが、昨年、令和3年の3月に要綱、規則を整備しまして、正式な形で教育委員会の方は生涯学習振興課ということで対応しております。

今、おっしゃった夏休みの算数とか、そういうのは、高津・緑が丘の方で寺子屋という形でやっている団体もありますので、そういう学校のものも含め、あと地域の方で困っていることを逆に地域の方、生徒なり世代の地域内で還元できるか、そういうお互いがWin-Winになるものができるものを考えておりますので、そういう60歳以上の先生の方の活用なども進めて参りたいと思っております。以上でございます。

【藤澤会長】

はい。図書館担当、大野主幹お願いします。

【事務局（生涯学習振興課図書館担当 大野主幹）】

ブックスタート事業について回答させていただきたいと思っております。第3次八千代市子供読書推進計画の具体的な取り組みの一つとしてブックスタート事業を実施しております。絵本を介して親子の声かけやスキンシップを大切に伝えることを目的として配布をいたしております。絵本につきましては、「くだもの」という絵本を配布しております。

例年、子育て支援センターなどで行われる4ヶ月赤ちゃん広場の会場で絵本をお渡ししていましたが、コロナ禍となり、図書館の方に取りにさせていただくようになっております。

また、令和3年度に実施したアンケート調査では、絵本を受け取った後に気持ちの変化をもたらしたか、という問いに対しまして、「絵本に興味を持つようになった」、「子供と絵本を介した

触れ合いの時間を持つようになった」、「図書館から本を借りるようになった」などの回答が出ております。また、絵本を読むことができない方につきましては、点字の本を渡ししているような状況になります。

【藤澤会長】

ぜひ推進していただきたいと思います。
他にご質問ご意見等はございませんでしょうか。

【小野尾委員】

はい。

【藤澤会長】

小野尾委員お願いします。

【小野尾委員】

ちょっと単純な質問かもわからないのですが、今日初めて参加させていただいて、多岐にわたる具体的な取り組み、内訳の方もいろいろお話をいただく中で素晴らしい取り組みをされているなっていうところを感じました。

今、この第5次総合計画の中の前期の令和5年度というところで進めてらっしゃると思うのですが、途中ではあると思うのですが、またその期の中でも新しい取り組み項目とか増える何かご予定とか可能性とか、もしそういった今どんどん時代をいろんなところで趣味とかがどんどん変わってきますので、また新しいこういった取り組みの方、ご意見等、希望があったら検討するとか、そういった今後の計画というのはどうなのかなと思った次第なのですがよろしいでしょうか。

【藤澤会長】

はい、松本副主幹お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

この新たな取り組みに関する位置付けにつきましては、説明の中でも少しお話しさせていただいたのですが、各推進部署以外に全庁的新たな追加についてということで調査をさせていただいております。結果とすると、令和5年度に関しましては、無かったというところではあるのですが、やはり今の世の中の状況というか、社会環境の変化というところで言いますとやはりゼロカーボンシティとかですね、八千代市は新たに宣言していますので、そういったところについても担当部署の方にいろいろご相談をさせていただいている状況となっております。

ただ、ちょっとやはりまだ具体的にどういったことに取り組むっていうところがまだ曖昧なところとか手探り状態のところもあったりしていますので、そういったところでまだ位置付けに至っていないのですが、次期また総合計画が令和7年度から、推進計画の方も今度第四期になってくるのですが、その中ではまた新たな項間は、幾つか追加されてくるのではないのかなとい

う形で今の時点では考えております。

【藤澤会長】

ありがとうございました。他、いかがでしょうか。

それでは、議題2(2)第三期生涯学習推進計画令和5年度版の案について、よろしいでしょうか。

【委員一同】

(異議なし)

【藤澤会長】

それでは事務局は、委員の皆様から出された意見等を踏まえ、必要に応じて修正を行うようにお願いいたします。

以上で本日の議題はすべて終了となります。

続いて、次第5「その他」に移ります。事務局から連絡事項ございますか。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

はい。

【藤澤会長】

松本副主幹お願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

はい、事務局より連絡事項が3点ございます。

まず1点目になりますが、来年度の生涯学習審議会についてでございます。来年度も今年度と同様に1回開催する予定としております。来年度は地域計画である第四期八千代市生涯学習推進計画の策定に向け、本市の生涯学習に関するアンケートを7月から8月の期間に実施することとしておりますが、実施することとしておりますので、アンケートに関することを議題とし、6月ごろに開催するか、もしくは今回と同じ時期に令和6年度版の推進計画に関することを議題とし開催するか、藤澤会長、佐藤副会長とも相談の上、決定して参りたいと考えておりますのでご承知おきますようお願い申し上げます。

続いて2点目ですが、今年度新たに委員になられました岡崎委員、委員区民委員に事前に郵送させていただきました、個人番号マイナンバー届け出書及び委員報酬振込依頼書をお帰りの際にご提出いただきますようお願いいたします。

最後に3点目ですが、委員報酬の振り込みとして振込先を変更される場合は、お帰りの際に委員報酬振込依頼書のご提出をお願いいたします。変更のない場合は、提出不要となります。連絡事項は以上となります。

【藤澤会長】

それでは以上をもちまして、令和4年度八千代市生涯学習審議会を終了いたします。
進行にご協力いただき、ありがとうございました。